

2014年11月17日  
株式会社エイチアイ

## エイチアイ、「大規模 HEMS 情報基盤整備事業」への取組みについて

株式会社エイチアイ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:川端 一生、以下、エイチアイ)は、経済産業省が実施する「大規模 HEMS 情報基盤整備事業」において、消費者の実際の声を反映したプライバシー上の対応策および消費者が安心できる電力利用データの利活用環境の検討に参画いたします。

「大規模 HEMS 情報基盤整備事業」は民間主導による HEMS の普及促進と、一般家庭での経済性の高いエネルギー管理実現を目的にしており、東日本電信電話株式会社、KDDI 株式会社、ソフトバンク BB 株式会社、パナソニック株式会社の 4 社を幹事企業とするコンソーシアム「iエネ コンソーシアム」が採択を受け、各社連携のもと、全国約 1 万 4 千世帯のモニターに対して HEMS を導入し、各家庭の電力データを一元的にクラウド管理する情報基盤システムを構築します。

### 大規模 HEMS 情報基盤整備事業



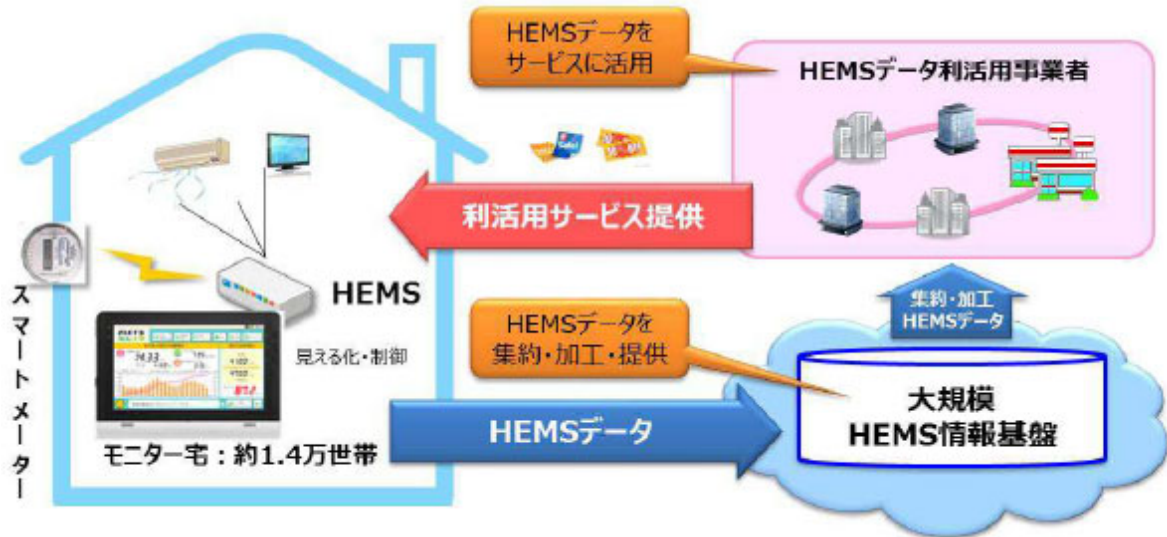
マスコットキャラクター  
iエネくん

エイチアイは、生活者視点の調査・分析・ガイドライン・プロトタイプング・仕様・開発に関する取組みに対しての実績を持ち、上流から下流のサービスおよび開発までを一貫して実施することが可能であることや、独自のユーザビリティテストを実施する環境、ノウハウを有しており、HEMS 関連サービスについて、利用者が親しみやすいユーザーインターフェース実現のためのサービス企画からシステム開発までを提供した実績があります。

今回、それらの実績をふまえ、KDDI 株式会社が三重県桑名市で実施する約 3,500 世帯を対象とした「HEMSトライアル事業」において、調査対象へのインタビューやユーザビリティテストなどを実施し、消費者が安心できる電力利用データの利活用環境の検討を行います。

これにより、暮らしを便利で豊かにする生活支援を実現していきます。

<大規模 HEMS 情報基盤整備事業の全体イメージ>



\*会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。